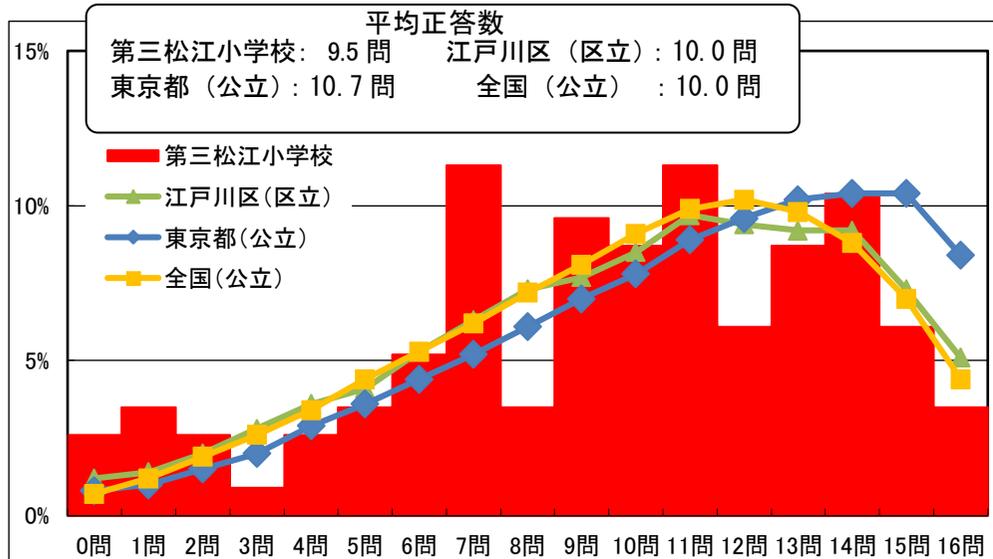


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 第三松江小学校

## 正答数分布



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
第三松江小学校	20	26.1	21.8	32.2
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

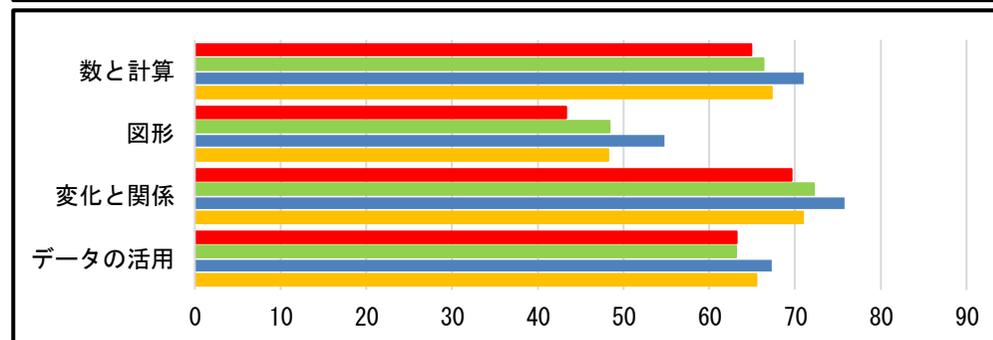
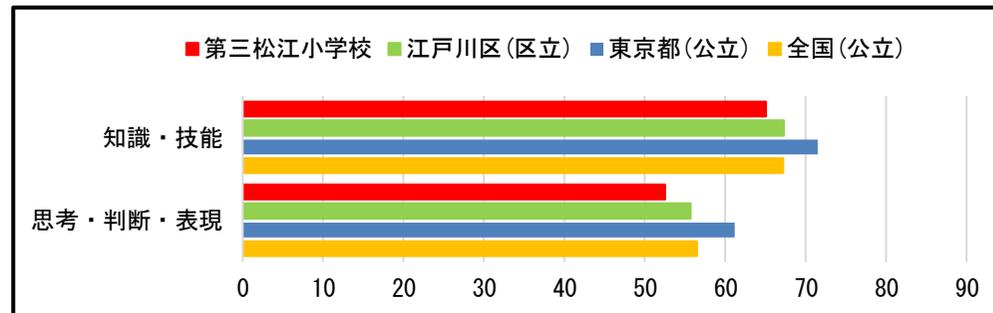
## 【平均正答率の差】

第三松江小学校	60%
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	7ポイント

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【分析結果と授業改善に向けて】

- ・ B~D層が多い。あと1問正解で上位層にカウントされる児童が多くいる。単元ごとの力は身に付いてきている実感はあるが、習熟や学んだことを活用する能力が未だ不十分といえる結果である。様々な形態での授業改善を進めるとともに、自分の力で未知の課題に取り組む力を養う指導が必要である。
- ・ 思考・判断・表現を底上げするために、学び合うことを土台にした授業づくりをしていく。